

|  |   |
|--|---|
| <b>【技術の名称】</b><br>ストーンコラム工法<br>－静的締固めによって築造した柱状碎石補強体を用いる地盤補強工法－（改定1） | 性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-30号 改1<br>性能証明発効日：2024年1月12日<br>性能証明の有効期限：2027年1月末日<br><b>【取得者】</b><br>株式会社ガイナ |
|--|---|

### 【技術の概要】

本技術は、専用開発した掘削ヘッドを先端に取り付けたケーシングを用いて、無排土で地盤を削孔し、掘削ヘッドから排出した碎石を静的に締固めて築造した柱状碎石補強体と原地盤の支持力を複合させて利用する地盤補強工法である。

### 【改定・更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第17-30号（2018年1月19日）  
更新：GBRC 性能証明 第17-30号（更1）（2021年1月6日）  
改定1：GBRC 性能証明 第17-30号 改1（2024年1月12日）  
・施工管理項目の追加（原地盤の湿潤密度）

### 【技術開発の趣旨】

本技術は、環境への配慮と施工性の向上を意図して開発したもので、補強体材料として自然碎石や再生碎石を用いるとともに、専用施工機を用いて狭小地においても施工可能な工法としている。

### 【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、補強地盤の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「ストーンコラム工法 設計・施工指針」に従って施工された柱状碎石補強体を用いた補強地盤の長期ならびに短期荷重時の鉛直荷重に対する支持能力は、同指針に定めるスクルーウエイト貫入試験結果に基づく支持力度算式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。



図-1 施工機械

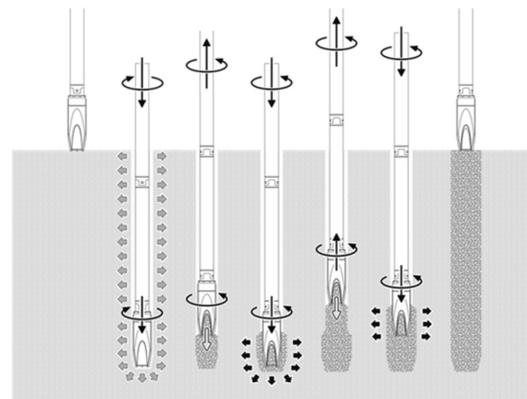


図-2 施工手順



図-3 打設した碎石パイル

### 【本技術の問合せ先】

株式会社ガイナ 担当者：木戸 崇之  
〒791-8016 愛媛県松山市久万ノ台 921-1

E-mail：tecnology@gaina.co.jp

TEL：089-922-7895

FAX：089-922-7895